

令和7年度 自己評価・学校関係者評価 報告書及び結果公表シート

学校法人聖テレジア学園
小さき花幼稚園

1. 幼稚園の教育目標

- ・自分は愛される存在であることを自覚し、自信を持って生活をする。
- ・集団生活の中で、友達や先生に親しみを持って関り、豊かな人間関係を築いていく。
- ・個々の力をのびのびと発揮し、さらに伸ばしていけるよう様々な体験活動を行う。
- ・自分の気持ちや考えを言葉に出して表現する。

2. 本年度の重点課題(学校評価の具体的な目標等)

- ・幼稚園教育要領とカトリック教育を加味した質の高い保育の実践。
- ・教育理念に基づき、園児一人ひとりに寄り添った保育の実践。

3. 評価の結果とその理由 自己評価実施日 令和 7年12月 20日 学校関係者評価実施日 令和 8年 3月 16日

自己評価			学校関係者評価
評価項目	結果	理由	結果
I 教育内容 ・保育の計画性 ・教職員体制の充実	A	新採用の職員が入ったことにより、職員全体で「教育理念」に対する内容理解を改めて深めることが出来た。 クラス数が減り、学年の打ち合わせができなくなったり個人の負担が増える中、園全体でそれぞれの学年の計画に対し意見を交わすことで、各学年の育ちを把握する良い機会となり、豊かな時間と子ども達の育ちに合わせたカリキュラムを打ち出すことが出来たり園全体で取り組むことで個人への心身への負担も軽減できたと感じた。	A
II 教育内容 ・研修や研究 ・教育環境の構成	B	聖テレジア学園の三園の教職員が参加する研修会をはじめ、園長主幹研修への参加を通して、カトリック精神に基づく幼児教育のknow-howを職員間で共有することが出来た。また、「食育・マネジメント・保護者対応・療育・子育て支援」などの専門分野での研修を通して職員の知識を広げ、得た事柄を日々の保育に生かすことが出来るよう園内研修で共有し、意見交換をしながらより良い保育のあり方を推察・実践することで自己のスキルを高めることが出来たと感じる。ただし、振り返りが浸透してなかったことが課題点である。	B
III 地域の幼児センターとしての役割 ・未就園児に対する支援 ・教育相談機能 預り保育	B	未就園児が参加できる「子育て支援活動」を今年度は8回に増やしたり毎週金曜日は園庭を開放し地域のお子さんが安心安全に遊べるように環境を提供した。 要保護児童対策地域協議会にて、関係各所との対象児へのより良い保育援助について意見交換をしたり、見守りを行うことで幼児の実態、家庭の様子、保護者支援など共有することができた。 療育の面では、専門機関との繋がりにより個々に応じた対応をすることができ、また、専門機関の様子や家庭の様子などを共有することにより、より良い支援が実施できた。	A
IV 安全管理 ・外部侵入者への安全対策 ・施設、設備への安全対策 ・衛生面の安全管理 等	B	常に子ども達の安心できる生活空間であるかを点検している。怪我や事故が発生した場合には、必ず場所と経緯を確認し、原因となるものを取り除くようにしている。 経験のある職員を中心に予測を立てられるように意見交換をしたり職員自身が自己判断できるような安全な環境作りに務められるように指導をしている。 毎月の避難訓練や防犯、交通安全についても折に触れて指導できるようにしている。	A
V 人事管理 ・教育目標達成のための人事 ・教職員の募集、雇用、労務管理 ・教職員の資質向上への取組み	B	人事管理に関しては、新たに2名のパート職員が加わり大勢の目で子ども達を観ることが出来た点では良かったと感じているが、出産に伴い育児休暇を取る職員が出たこともあり、実質はゆとりがない状態で日々過ごしてきた。 課題としては、職員のパフォーマンスをうまく生かしながら保育活動や行事を進めることにもう少し気を配れるようにしていきたい。また、個々の資質向上の為、研修会や研究会には、できるだけ参加していけるように配慮していきたい。	B
VI 財務管理 ・予算作成、予算管理、決算 ・財務情報の公開 ・物品購入 等	A	物価高騰が社会的にも問題になっているが、園児(保育)に必要な部分は通常に使えるようにしながらも、様々な場面で無駄な支出がないよう共通理解しながら過ごしてきた。今年度は「餅つき大会」を行うことが出来たが、食品の高騰もあり、一部保護者に負担していただき実施することが出来た。 遊具のメンテナンスなどにより予算以外の支出があった。	A

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
A	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員が園児一人ひとりを大切に関り、安心して通園させることが出来た。 ・様々な行事を通して職員が子ども達の為に教育環境を整えていることが理解できた。 ・忙しい中でも職員のスキルを高めるために各種研修会に参加していることは良い取り組みであると感じた。 ・全職員が全園児を理解し、その子の特性などについても共有していることは良き指導体制が構築されていると感じられた。 ・今年からクラスだよりの一環として動画を用いてクラスの様子や取り組みを紹介しているが、分かり易くて良いと感じた。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
園行事	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの興味や関心が生かされ、主体的に取り組める活動を大いに取り込み、楽しんでほしい。 ・保護者も行事の係として保育に参加できることは良い機会であると感じた。今後も引き続き保護者を交えて取り組んでいくことで職員の負担が軽減されると感じている。
環境構成	<ul style="list-style-type: none"> ・人的・物的・自然環境が整うように努力していることが伝わるが、地域社会との交流をどのように取り入れたらよいか課題と感じる。少しずつ増やしていけるよう取り組んでほしい。 ・登降園時に混雑があるため、動線の工夫があると安全でスムーズになる。
安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の避難訓練・交通安全教室を通して園児たちへの防災意識を高めるよう努力してほしい。 ・職員は、常にマニュアルの見直しを行い、共通の認識を持つ機会を作る ・園庭や遊具の点検の後に、保護者への説明があるとより安心できる。
職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・各職員に様々な分野の研修参加が求められ、必要とされる研修に参加した後は、保護者への公表も成長のカギとなる。人材不足の中大変ではあるが、対面研修会に積極的に参加することを臨む。 ・園内研修が即実践に生かして有効であると思われる。共に考え、意見を出し合いながら学び、それを共有してほしい。

6. 本報告書、結果公表シートの公表について

公表期間 令和 8 年 3 月 16 日 ～ 令和 8 年 4 月 10日

公表方法 保育参観時園内掲示 / 幼稚園HPに掲載

「3.4」の評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

記入日 令和 8 年 3 月 31 日

記入者

学校法人 聖テレジア学園
 小さな花幼稚園
 園長 渡邊 理恵

